2016年度　活動報告書

公益社団法人　日本医療社会福祉協会

目　次

2016 年度　各部・公益事業の主な活動報告

A．調査研究部 ・・ 2

B．組織運営部 ・・ 3

C．総務部 ・・ 4

D．研修部 ・・ 4

E．認定事業部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

F．社会活動部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

G．関連団体との連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

2016 年度　渉外関係活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

2016 年度　研修プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

2016 年度　各部・公益事業の主な活動報告

A．調査研究部

1．平成２８年度診療報酬改定を受けて、以下について実施した。

①前年３月の東京会場から引き続き「診療報酬改定説明会」を全国５箇所（神戸、仙台、札幌、愛媛、福岡）で行った。

②県協会（兵庫）より２件（群馬、兵庫）診療報酬改定に関する研修会の講師派遣依頼あり、講師派遣を行った。

③協会ホームページを通して会員からの診療報酬の質問に対応した。

2．平成 30 年度診療報酬改定に向けて、以下について実施した。

①地域包括ケア病棟・病床にアンケート調査を行った。

②在宅総合診療所にアンケート調査を行った。

③周産期病棟にアンケート調査を行った。

3．公益社団法人全日本病院協会（全日病）が実施した医療ソーシャルワーカー研修会（7月 8-9 日）の企画、講師・ファシリテーター派遣について協力した。

4．人生の最終段階における意思決定支援研修を実施した。

1）人生の最終段階における意思決定支援研修会【兵庫会場】

期　日：2016 年 10 月 15 日（土）～16 日（日）

場　所：富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

対　象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っている医療ソーシャルワーカー。

目　的：人生の最終段階の意思決定の場面において、医学的適応だけではなく、その方の人生をどのように生きたいか、どのように過ごしたいかの相談支援もふくまれる。合意形成に向けたチーム医療の実現とクライエントにどのように向き合い支援をするかを学び、実践力を高めることを目的とする。

内　容：別掲

修了者：77 名

2）人生の最終段階における意思決定支援研修会【北海道会場】

期　日：2017 年３月 11 日（土）～12 日（日）

場　所：札幌国際ビル（北海道札幌市）

修了者：46 名

5．チーム医療推進協議会の運営委員組織として「IPE・IPW におけるコンピテンシーの重要性が課題」研修（11 月 12 日）「地域包括ケアシステムにおけるチーム医療」の研修会（2月 26 日）を行った。

6．医療機関等に所属する会員データの収集・分析に関する調査研究業務として、会員情報の把握に関する調査等を実施し、公益に資する方策について検討した。

7．ファイルメーカー版ソーシャルワークデータシステム「MANBO」の啓発および報告会・「MANBO」体験会を実施した。

1）ホームページを活用し、全国からデータを集約することを目的に「MANBO」のダウンロードを無料で行えるようにした。

2）データシステムの今後の活用と展望～新システム「MANBO」の利用から～

期　日：2016 年 5 月 28 日（土）
場　所：朱鷺メッセ［新潟コンベンションセンター］
対　象：当協会会員
参加者：約 50 名

B．組織運営部

1．会務運営の基礎資料とするため会員の属性および職務内容等に関する情報を把握した。

2．入会促進を目的に「フレッシュ医療ソーシャルワーカー１日研修会」を大阪、東京、香川で開催した。また新入会員から入会動機の調査を行った。

期　日：大阪会場　6 月 26 日、東京会場　7 月 16 日、香川会場　7 月 24 日
対　象：現に医療ソーシャルワーカーとして従事する者であって、入職後２年未満の者。
目　的：先輩や同期の仲間と交流を持ち、社会人の基礎や医療ソーシャルワーカーの心構えや知識、近隣の都道府県協会を知ることを目的とする。
内　容：別掲

3．その他の報告事項は次のとおりである。

1）第 24 回永年表彰として、全国大会時に 54 名表彰した。

2）入退会者を把握した。

正会員　入会 456 名、退会 295 名
賛助会員　入会　個人 44 名、団体３団体、退会　個人 35 名、団体３団体

4．総会・全国大会関係

2016 年 5 月 26 日～28 日新潟県新潟市で第 64 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会・第 36 回日本医療社会事業学会を開催した。また、全国大会１日目に 2016（平成 28）年度社員総会を開催した。

5．全国医療ソーシャルワーカー協会会長会

全国医療ソーシャルワーカー協会会長会の事務局を担当し、会議２回、役員会議１回を開催した。また、会員間の情報共有を促進するためのメーリングリスト管理の他、ホームページを管理した。

C．総務部

1．「医療と福祉」発行関係

「医療と福祉」編集担当チームは、機関誌「医療と福祉」第 100、101 号を出版した。その他出版方法の見直しの検討を行った。

2．「協会ニュース」発行関係

「協会ニュース」編集担当チームでは、会報「協会ニュース」を４回発行した。

3．情報公開関係

4．ホームページ維持管理

ホームページ担当チームでは、ホームページ（協会本体・災害対策本部）の運営管理を行った。

・国民および会員に対しタイムリーな情報提供を行うため迅速な更新作業に努めた。
・協会本体・災害対策本部共に Facebook により協会の動きをリアルタイムに伝えられるよう更新作業を行った。

5．調査研究に対する倫理審査担当会議について

年３回開催し、審査を行った。

D．研修部

1．医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰを実施した。

1）医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【東京会場】（第 74 回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）

期　日：2016 年８月 10 日（水）～8 月 14 日（火）
場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）
対　象：現に保健医療分野のソーシャルワーカーとして従事する者であって、受講する年度の３月末日現在において実務経験が３年未満の者。
目　的：実務経験３年未満の医療ソーシャルワーカーに対し、医療ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識・技術を習得してもらうことを目的とする。
内　容：別掲
修了者：120 名

2）医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【兵庫会場】（第 75 回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）

期　日：2016 年 11 月 23 日（水）～27 日（日）
場　所：富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）
修了者：92 名

２．医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱを実施した。

１）医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【東京会場】

期　日：2016 年７月 16 日（土）～18 日（月）

場　所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対　象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験３年以上の現任者。

目　的：実務経験３年を超えた保健医療分野のソーシャルワーカーが標準的に行うべき業務を遂行できるよう、必要な知識技術を身につけ実践力を高めることを目的とする。

内　容：別掲

修了者：71 名

２）医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【愛知会場】

期　日：2017 年３月 18 日（土）～20 日（月）

場　所：IMY ホール・会議室（愛知県名古屋市）

受講者：35 名

３．実習指導者養成認定研修を実施した。

１）実習指導者養成認定研修【愛知会場】

期　日：2016 年９月 17 日（土）～19 日（月）

場　所：IMY ホール・会議室（愛知県名古屋市）

対　象：実習指導に悩まれている方や今まで実習指導を行ったことのない保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験３年以上の現任者。

目　的：社会福祉専門職の養成教育において、重要課程である実習現場での実習時に、有効な指導ができるように、現場のソーシャルワーカーを現場のスーパーバイザーとして養成することを目的とする。

内　容：別掲

修了者：25 名

２）実習指導者養成認定研修【東京会場】

期　日：2017 年１月７日（土）～9日（月）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

修了者：67 名

4．スーパーバイザー養成認定研修を実施した。

1）スーパーバイザー養成認定研修【大阪会場】

期　日：2016 年 8 月 27 日（土）～28 日（日）

場　所：国立病院機構大阪医療センター（大阪府大阪市）

対　象：⑴～⑷のいずれか１つを満たしている者。

⑴当協会のスーパーバイザー登録・紹介事業登録者。
（2003～2009 年度実施事業）

⑵当協会の研修①～②のいずれか１つを満たしている者。
①実習指導者養成認定研修修了者。
②ソーシャルワーク　スキルアップ研修　スーパービジョン研修受講者。
（2010、2011、2014～2016 年度）

⑶当協会の認定医療社会福祉士登録者。

⑷保健医療分野の現任者で組織の承諾が得られる者。

目　的：保健医療分野におけるソーシャルワークサービスの充実、および、質の向上を図るため、スーパーバイザーを養成することを目的とする。

内　容：別掲

修了者：31 名

2）スーパーバイザー養成認定研修【東京会場】

期　日：2016 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

修了者：51 名

5．ソーシャルワーク　スキルアップ研修を下記の内容で 15 回実施した。

1）アセスメント

期　日：2017 年 1 月 7 日（土）

場　所：パピヨン 24（福岡県福岡市）

対　象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験３年未満の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目　的：保健医療分野のソーシャルワークにおける一般的アセスメントについて医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰで習得した知識・技術を講義と演習を通してさらに深め、アセスメントの実践力を高めることを目的とする。

内　容：別掲

受講者：17 名

2）インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

期　日：2016 年８月 20 日（土）～8 月 21 日（日）

場　所：国立病院機構南岡山医療センター（岡山県都窪郡）

対　象：実務経験３年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目　的：近年の社会福祉などを取り巻く状況の変化に予知、短期の支援が要請されているため、ソーシャルワーク諸理論の統合的活用により、より効果・効率的支援（総合的短期支援）の技法を学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：32 名

3）面接技術　～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

期　日：①2016 年５月１日（日）　②5 月 29 日（日）　③6 月 26 日（日）

場　所：KFC Rooms ＆ KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対　象：原則として実務経験３年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目　的：面接技術を向上させることにより、短時間に適切なアセスメントにつながる情報収集やクライエントとの関係性の構築を図ることを目標とし、そのために新しい手法の一つとしてソリューション・フォーカスト・アプローチの技術を学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：56 名

4）記録　～プロセスからプログレス記録～【北海道会場】

期　日：2016 年７月９日（土）

場　所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前（北海道札幌市）

対　象：記録について学びたい保健医療分野のソーシャルワーカー。

目　的：電子カルテに SW も記録を残すことが増えた昨今、プロセス記録とプログレス記録の違いを明確にし、記録の中でも電子カルテに多い SOAP 記録を基本にしたプログレス記録のあり方などを講義とワークショップ形式で学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：55 名

5）記録　～プロセスからプログレス記録～【福島会場】

期　日：2016 年 12 月 10 日（土）

場　所：郡山商工会議所（福島県郡山市）

受講者：45 名

6）記録　～プロセスからプログレス記録～　アドバンス

期　日：2016 年 12 月 11 日（日）

場　所：郡山商工会議所（福島県郡山市）

対　象：記録の研修としてさらに学びたい保健医療分野のソーシャルワーク実践者。

目　的：ワークショップを中心により根拠のある記録方法を学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：32 名

7）スーパービジョン

期　日：2016 年 6 月 5 日（日）

場　所：京都リサーチパーク西地区（京都府京都市）

対　象：保健医療分野のソーシャルワーク実践者。

目　的：保健医療分野のソーシャルワーカーの実践力を向上させていくためには不可欠なスーパービジョンを講義と演習を通して学ぶ。

内　容：別掲

受講者：65 名

8）退院支援専門ソーシャルワーク研修【北海道会場】

期　日：2016 年 10 月 22 日（土）～23 日（日）

場　所：函館市医師会病院、総合保健センター（北海道函館市）

対　象：退院支援ソーシャルワーク実践者。

目　的：急性期病院をはじめ保健医療分野のソーシャルワーカーは退院支援に多くの時間を取られている現状にあると思われます。診療報酬の動きを踏まえ、われわれソーシャルワーカーも積極的にこの退院支援について考え学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：52 名

9）退院支援専門ソーシャルワーク研修【三重会場】

期　日：2017 年 2 月 25 日（土）～26 日（日）

場　所：じばさん三重、四日市文化会館（三重県四日市市）

受講者：70 名

10）周産期から始まるソーシャルワーク研修

期　日：2017 年３月４日（土）～５日（日）

場　所：富士ゼロックス総合教育研究所　スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

対　象：周産期・小児領域で実践中または今後関わる予定のあるソーシャルワーカー。

目　的：周産期およびそれに続く小児ソーシャルワークは、個人および家族にとってライフサイクル上の重要な時期の生活を支えることになり、生活者の生活課題を予測しストレングスを支えるソーシャルワークの力量を発揮することが求められる。急性期医療を要する時期における集中的な支援のみならず、成長発達する子どもを地域の諸機関と共にチームで支えていく視点も必要である。家族のはじまりの時期から関わり、その後も継続的に生活を支えていくソーシャルワークについて学び、実践力を養うことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：43 名

11）ソーシャルワークにおける就労支援

期　日：2017 年 1 月 28 日（土）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対　象：保健医療分野における現任のソーシャルワーカー実践者。

目　的：働くがん患者への支援は、第 2 期がん対策推進基本計画（平成 24 年策定）、がん対策加速化プラン（平成 27 年策定）に重点課題として盛り込まれ、今後ますます、医療現場・職場・地域関係者等、様々な関係者による実践や連携が求められている。本研修は、がん患者の就労問題に関する政策的な動向・がん治療に伴う身体変化の特徴等に関する理解を深め、がん患者の職業生活と治療の両立支援に関する実践力を高めることを目的とする。

内　容：別掲

受講者：57 名

12）緩和ケアにおけるソーシャルワーク　～いのちに向き合う～

期　日：2016 年 12 月 4 日（日）

場　所：富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

対　象：緩和ケア領域で実践中、および関心をもつ現任のソーシャルワーカー。

目　的：緩和ケア対象の患者と家族へのソーシャルワークは、緩和ケア病棟に限らず、がん専門相談員としての実践や緩和ケアチームへの参入など、広く求められてきている。ソーシャルワーカーとしていかに向き合い支援していくか、緩和ケアにおけるソーシャルワークについて学びその実践力を高めることを目的とする。

内　容：別掲

受講者：57 名

13）ソーシャルワークにおける臨床倫理

期　日：2016 年 7 月 23 日（土）

場　所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対　象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目　的：保健医療分野のソーシャルワーカーにとって「クライエントの自己決定を支援する」ことの重要性は論を待たない。しかし選択の局面は、クライエント自身が意思表出困難な場合や、選択に制限が生じる状況、様々な要因の絡み合いなど「自己決定を支援する」ことが、容易ではないことは少なくない。そうした状況を臨床倫理的な視点で捉え、ソーシャルワーク実践における臨床倫理について考えることを目的とする。

内　容：別掲

受講者：55 名

14）認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

期　日：2016 年 11 月 12 日（土）

場　所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対　象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目　的：近年、もの忘れ外来や、認知症疾患医療センターなどが医療機関に設置され、保健医療分野のソーシャルワーカーが関わり、また、治療の継続や選択の局面、地域での生活支援など、専門診療科以外でも多くのソーシャルワーカーが関わっています。人権に基づく相談援助を行う専門職として、権利擁護や成年後見などの法的な枠組みを含めたソーシャルワーク支援を学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：63 名

15）交通事故被害者生活支援研修

期　日：2016 年 9 月 25 日（日）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対　象：現任のソーシャルワーカー。

目　的：交通事故被害者が辿る過程全体を把握し、所属する機関の機能や役割から事例への介入時期と状況をアセスメントできる。そのアセスメントにもとづき、適切な支援と次の支援者あるいは支援機関に繋ぐことができる。加えて自動車事故にまつわる保険制度、公的制度との関係、利用できる社会資源を学ぶことを目的とする。

内　容：別掲

受講者：50 名

6．ソーシャルワーク研究発表セミナーを実施した。

期　日：2016 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対　象：現任のソーシャルワーカー。

目　的：現任のソーシャルワーカーにとって、専門性を高めるために研究は不可欠であり、研究は専門職である証である。研究に必要な知識や方法を学び、保健医療分野のソーシャルワーカーの研究発表を促進することを目的とする。

内　容：別掲

受講者：32 名

7．人材開発・養成講座を実施した。

期　日：2016 年 11 月 20 日（日）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対　象：現任のソーシャルワーカー。

目　的：ソーシャルワークの専門性を踏まえた、人材育成・人材養成・人材開発の方法論を身に付けることを目的とする。

内　容：別掲

受講者：47 名

8．社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座を開催した。

期　日：2017 年３月 18 日（土）～19 日（日）

場　所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対　象：社会福祉を学ぶ大学２年生・３年生・４年生、社会福祉士養成校学生、大学院生。

目　的：社会福祉を学ぶ学生から「医療ソーシャルワーカーになりたい」「興味はあるが実際にどのような仕事かよくわからない」「医療ソーシャルワーカーの実習をしたいので事前に勉強したい」などの要望に応え、正しい職業イメージをもっていただくための講座。

内　容：別掲

受講者：61 名

9．医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ・Ⅱ修了者、実習指導者養成認定研修修了認定者、スーパーバイザー養成認定研修修了者を集計したところ次のとおりであり、実習指導者の認定者については厚生労働省に届出等を行った。

2017 年3月 31 日現在の修了者数の累計

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ修了者	：1,836 名
医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ修了者	：　934 名
実習指導者養成認定研修修了認定者	：1,065 名
スーパーバイザー養成認定研修修了者	：　303 名

10．研修部会内委員会

1）実習指導者養成研修運営委員会

実習指導者養成認定研修を２回実施した。なお、実習指導者養成認定研修は、社会福祉士実習指導者講習会として厚生労働省より認められているので、前記９．のとおり厚生労働省に届出等を行った。

2）研修事業検討委員会

外部の有識者を交え１回開催し以下の検討を行った。

①基幹研修Ⅰの運営方法および研修内容についての検討。

②基幹研修Ⅱの運営方法および研修内容についての検討。

11．第 36 回日本医療社会事業学会の開催

2016 年５月 26 日（木）～28 日（土）、朱鷺メッセ［新潟コンベンションセンター］（新潟県新潟市）にて第 64 回大会・第 36 回学会を実行委員会とともに開催した。

12．第 16 回都道府県研修担当者会議の実施

第 64 回日本医療社会福祉協会全国大会に併せ実施した。

13．講師紹介（派遣）事業については、７件紹介した。

14．保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修

・当協会と（公社）日本社会福祉士会との共同事業である保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修を運営し、第 12 期のスクーリングを実施した。

＜期日：2016 年８月 19 日（金）～21 日（日）　場所：ユニコムプラザさがみはら（神奈川県相模原市）＞

参加者は、49 名であった。

スクーリングの評価については、（公社）日本社会福祉士会と合同による評価委員会を行った。

・４月 17 日より第 13 期の受講生を募集した。

E．認定事業部

1．第６回経過措置の認定審査

2016 年５月 26 日に第６回経過措置の認定審査を行い、認定・資格付与を実施した。

第６期経過措置申請　合格者　45 名

2．認定機構特別研修の開催

2016 年度特別研修受講者数　28 名

集合研修Ⅰ　2016 年 10 月８日（土）～９日（日）東京

集合研修Ⅱ　2016 年 12 月４日（日）東京

３．認定医療社会福祉士の普及促進活動

・協会ニュースに、毎号、記事を掲載し、その他ホームページ、チラシ等で促進のための広報活動を行った。

４．認定機構「スーパービジョン説明会」を２回開催した。

Ｆ．社会活動部

１．アピール提言活動

１）社会問題に関心を持ち、クライエントの不利益に関連する情報を収集し、必要があれば、専門職の立場から発言した。

２）「患者の権利法をつくる会」の第 26 回定期総会（11/5）に出席し、医療基本法制定による患者の権利法法制化を基本方針とすることを確認した。

３）ハンセン病回復者および家族の地域生活を支える活動（ハート相談センター）の運営に協力した。ハート相談センターは、（社福）ふれあい福祉協会から社専協ハンセン病委員会が委託を受けた事業である。高齢化がすすむ回復者と家族（遺族を含む）への相談支援を全国支援担当者と連携し、行っている。2016 年度は「相談員が押さえておきたい基本的な医学知識と後遺症」をテーマとし、相談員への研修会の開催に協力した。

４）「生活保護行政と医療ソーシャルワーク」シリーズを「人権擁護と医療ソーシャルワーク」シリーズと変更し、国立国際医療研究センター研究所で「明日であうかもしれない HIV 陽性者のために」研修を厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班と共催して行った（1/15）。

２．普及・啓発活動

医療ソーシャルワーカーの普及・啓発に関する情報を収集し、必要があれば、提言など意見を発信していくことに努めた。

３．災害支援

１）『平成 28 年熊本地震』に際して九州医療ソーシャルワーカー協議会と情報交換を行った上で災害対策本部を立ち上げ、熊本県医療ソーシャルワーカー協議しながら、必要な支援を行った。

２）期間中に寄付を呼び掛け、会員等より 691,194 円が寄せられた。

G．関連団体との連携

1．社会福祉専門職団体協議会（社専協）

社会福祉専門職団体の国内外の連携を目指す協議会であり、団体として国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）に加盟している。加盟団体は、当協会のほかに（NPO）日本ソーシャルワーカー協会、（公社）日本社会福祉士会、（公社）日本精神保健福祉士協会の４団体である。

今年度は、①第８回ソーシャルワーカーデー「ソーシャルワークの楽しさ・こわさ・醍醐味 ～人々の尊厳と価値の促進～」をテーマとして7月 18 日に東京：大正大学において開催し、これに参加と協力した。②IFSW 世界会議（韓国）に参加した。③ハンセン病回復者および家族への支援（ハート相談センター運営）、④国際ソーシャルワークデー記念シンポジウム（３月 20 日）などの活動を行った。

2．ソーシャルケアサービス従事者研究協議会（SCS）

同協議会は、2000 年５月に発足した「ソーシャルケアサービス従事者養成・研修研究協議会」を母体としている。この協議会は、社会福祉専門職の４職能団体および社会福祉士および介護福祉の教育機関である日本社会事業学校連盟、日本介護福祉士養成校協会および福祉研連加盟団体である日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本社会福祉実践理論学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会等の学術研究機関が参加してスタートした。

その後、組織を再編し 2003 年に現在の名称のソーシャルケアサービス従事者研究協議会に変更した。わが国でこのように社会福祉の学会、職能団体、教育養成組織が一堂に会した組織は初めてであった。

2009 年からは、「ソーシャルワーカーデー」（７月の海の日に開催）を設けて国民にソーシャルワーカーの存在と役割をアピールしている。また毎年１月の賀詞交歓会には、国会議員を招き交流を図っている。さらに 2011 年度から「社会福祉に関する政策勉強会」を立ち上げた。

2016 年度から代表者が交代すると共に組織替えが行われた。当協会会長が社専協幹事団体として副代表を務めた。

3．在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

①同ネットワークは、2002 年に「NPO（特定非営利活動法人）在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク」として、法人化した。当協会は、2003 年より参加している。加入者には、医師・歯科医師・看護師・リハビリ専門職・居宅介護支援事業関係・生協関係者などに加え各種市民団体が参加している。その目的は、診療所を中心として在宅ケアに関わる全ての専門職や当事者がつながりあうことにより、お互いを活性化しあい地域の特性を活かして課題に取り組み解決することである。当協会は開催地の都道府県協会に積極的な参加協力を呼びかけている。

②2016 年度の鹿児島大会の実行委員に加われるよう、鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会に情報提供し支援した。

4．国民医療推進協議会

国民医療推進協議会は、2004 年 10 月に「国民の健康の増進と福祉の向上を図るため、医療・介護・保健および福祉行政の拡充強化を目指し、積極的に諸活動を推進すること」を目的に、日本医師会が各医療関係者団体等に呼び掛けて発足した。当協会も加盟し会長が会議に参加をしている。

2011 年には、「受診時定額負担制度」の反対決議、2012 年度は、TPP 反対および国民皆保険制度の維持を目的として決議、2013 年度には、国民皆保険制度の維持と消費税問題の解決を採択するなどの活動をした。2014 年度は、国民皆保険制度維持のための財源確保について決議し、2015 年度は、「国民医療を守るための国民運動」の展開を決議した。2016 年度は、5月14 日に総会において「選択療養制度（仮称）」への反対決議が全会一致で採択された。

5．国際医療技術財団（JIMTEF）

同財団は、1987 年に設立されこれまで財団法人国際医療技術交流財団として活動してきたが、2014 年２月に公益財団法人国際医療技術財団に改組した。

同財団は、開発途上国の医療技術の振興および交流を促進し、国際的視野に立って医療技術者相互の理解を深め医療技術分野における国際協力を推進する事業を行い、これにより国際保健医療協力の振興と人類の福祉に寄与することを目的として活動している。

6．チーム医療推進協議会

2009 年設立。運営委員会と各ワーキンググループという組織体制で活動を行っている。決定機関としての代表者会という役割に整理された。

＜役員一覧＞

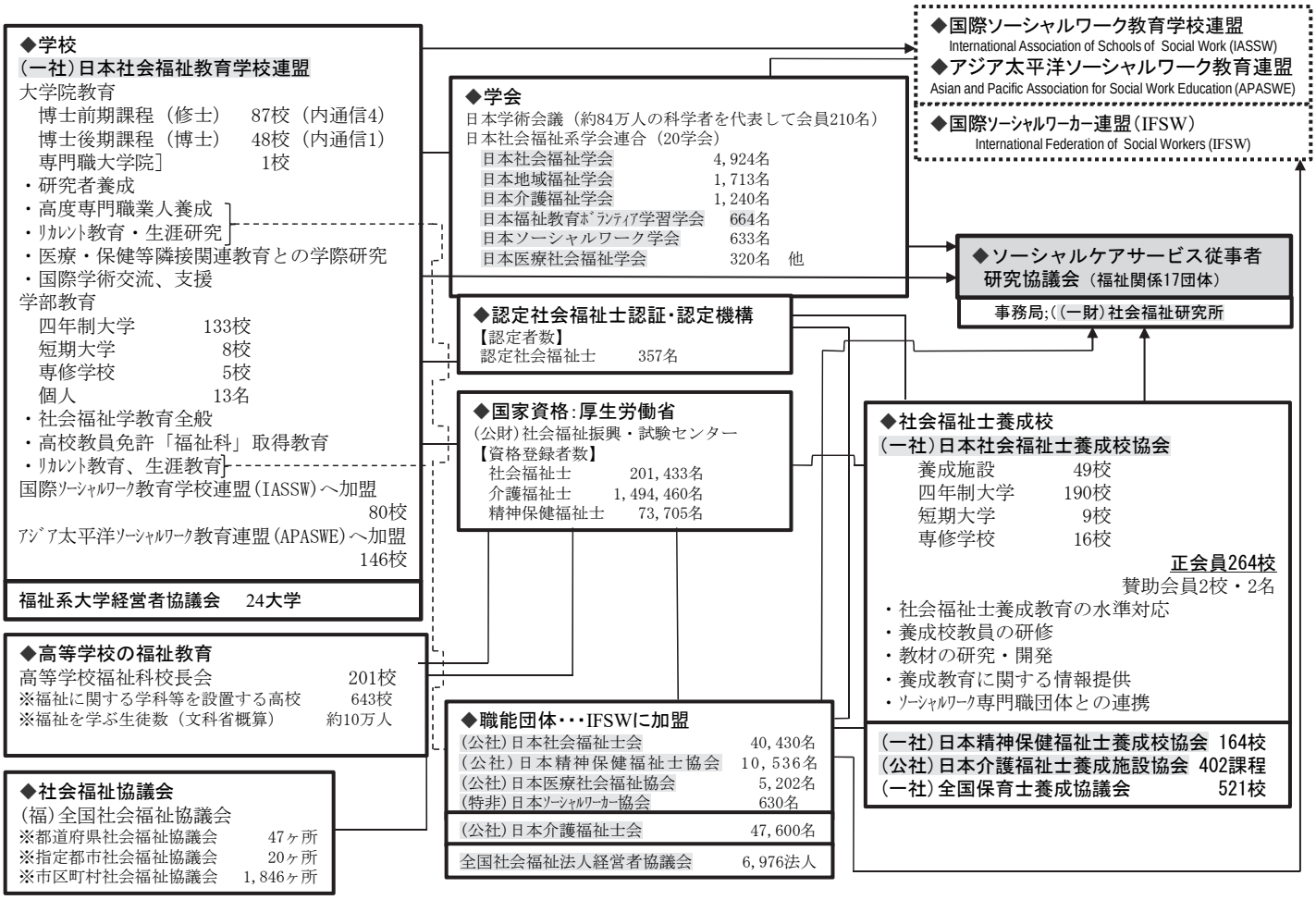
代　　表：半田　一登（公益社団法人日本理学療法士協会　会長）
副　代　表：中村　丁次（公益社団法人日本栄養士会　名誉会長）
　　：宮島　喜文（一般社団法人日本臨床衛生検査技師会　会長）
理　　事：小川　　清（公益社団法人日本診療放射線技師会　副会長）
　　：小林　　毅（一般社団法人日本作業療法士協会　常務理事）
　　：鈴木　哲司（一般社団法人日本救急救命士協会　会長）
　　：花村　温子（一般社団法人日本臨床心理士会　常務理事）
　　：早坂由美子（公益社団法人日本医療社会福祉協会　会長）
　　：吉井　智晴（公益社団法人日本理学療法士協会　理事）
監　　事：金澤　紀子（公益社団法人日本歯科衛生士会　顧問）
　　：中村　春基（一般社団法人日本作業療法士協会　会長）
顧　　問：堺　　常雄（一般社団法人日本病院会　会長）
　　：西澤　寛俊（公益社団法人全日本病院協会　会長）
相　談　役：北村　善明（本協議会　前代表）
　　：佐原まち子（本協議会　前副代表）
　　：田口空一郎（NPO 法人医療の質に関する研究会　統括研究員 兼 事務局長）

アドバイザー：小嶋　修一（TBS・ジャーナリスト）
　　：小島　正美（毎日新聞・ジャーナリスト）　　＊順不同敬称略
あすなろ会
山梨まんまくらぶ
＜2016 年度主な活動内容＞
2016 年 11 月 12 日（土）第１回勉強会を日本理学療法士協会 田町カンファレンスルームにて開催した。
2017 年２月 26 日「地域包括ケアとチーム医療」をテーマにシンポジウムを行った。

７．全日本病院協会の研修への協力
2016年度全日本病院協会の「病院医療ソーシャルワーカー研修会」を共催した。
第１回　2016年７月９日・10日　　参加者　131名
第２回　2017年２月18日・19日　参加者　119名
年２回全日本病院協会との共催による研修を実施することが確定した。

2016 年度　渉外関係活動報告

日本における社会福祉・ソーシャルワーク教育・研究の鳥瞰図（2016年11月版）



分類	主な活動内容
厚生労働省・その他行政機関関係	＜2016（平成 28）年＞ 4/1　鈴木幸一氏が当協会から研修生として厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室に配属 7/6　厚生労働省医政局地域医療計画課第１回「全国在宅医療会議」参加 9/8　厚生労働省健康局総務課訪問 9/29　厚生労働省雇用均等児童家庭局局長訪問 10/18　厚生労働省雇用均等児童家庭局課長補佐訪問 11/25　厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課企画係打合せ 12/8　厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課ヒヤリング ＜2017（平成 29）年＞ 1/16　厚生労働省医政局地域医療計画課課長補佐訪問

厚生労働省・その他行政機関関係	2/5　厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課企画係 3/15　厚生労働省医政局地域医療計画課第２回「全国在宅医療会議」参加 ＊災害支援に関する県庁・市町村および関連施設等への訪問は頻度が高く、実務的内容のため省略する。
社専協	＜2016（平成 28）年＞ 4/22　社専協代表者会議 6/10　社専協代表者会議 8/26　社専協代表者会議 10/28 社専協代表者会議 ＜2017（平成 29）年＞ 1/16　社専協事務局打合せ 2/3　社専協代表者会議 2/13　社専協事務局長会議
SCS	＜2016（平成 28）年＞ 6/13　SCS 研究協議会代表者会議 7/18　SCS 研究協議会第８回ソーシャルワーカーデー 8/29　SCS 研究協議会代表者会議 9/17　SCS 研究協議会緊急討論会 11/29 SCS 研究協議会政策研究会 ＜2017（平成 29）年＞ 1/17　SCS 事務局長会議 1/22　SCS 研究協議会代表者会議 1/22　SCS 新年賀詞交歓会 2/22　SCS 事務局長会議 3/7　SCS 研究協議会代表者会議
チーム医療推進協議会	＜2016（平成 28）年＞ 5/12　チーム医療推進協議会協議会総会 7/11　チーム医療推進協議会理事会 11/7　チーム医療推進協議会理事会 11/12 チーム医療推進協議会第１回研修会 12/6　チーム医療推進協議会会長懇談会 ＜2017（平成 29）年＞ 1/10　チーム医療推進協議会理事会 2/13　チーム医療推進協議会研修会打合せ 2/26　チーム医療推進協議会シンポジウム（座長：早坂） 3/23　チーム医療推進協議会総会

認定機構	＜2016（平成 28）年＞ 6/5　認定社会福祉士認証・認定機構理事会 7/11　認定社会福祉士認証・認定機構基本問題検討会 7/31　認定社会福祉士認証・認定機構理事会 9/20　認定社会福祉士認証・認定機構基本問題検討会 10/2　認定社会福祉士認証・認定機構理事会 11/21 認定社会福祉士認証・認定機構基本問題検討会 12/4　認定社会福祉士認証・認定機構理事会 12/9　認定社会福祉士認証・認定機構基本問題検討会 ＜2017（平成 29）年＞ 2/5　認定社会福祉士認証・認定機構理事会
その他関係団体関連	＜2016（平成 28）年＞ 4/17　日本在宅医学会第 1 回地域フォーラム in 福井 4/23　滋賀県医療ソーシャルワーカー協会 40 周年記念講演 5/9　日本社会福祉士養成校協会理事会 5/21-22　北海道医療ソーシャルワーク学会 5/31　東京都医療社会事業協会総会 5/31　東京都医療社会事業協会災害研修 6/4　埼玉県医療社会事業協会 60 周年記念大会 6/7　日本看護協会総会 6/11　いづも医療フォーラム 2016 6/20　在宅ケアアライアンス審査委員会 6/24-30　IFSW 世界会議（ソウル） 6/29　国際医療技術財団　団体協議会 7/1　キャリアブレイン取材 8/21　全国医療ソーシャルワーカー協会会長会役員会 9/3　日本医療社会福祉学会第 26 回大会（京都） 9/14-15　全老健大阪大会 10/22-23　社養協災害研修熊本会場 11/18 社専協事業　香港 SW との交流会 11/26-27　社養協災害研修高知会場 12/6　特別研修集合研修Ⅱ 12/10-11　社養協災害研修大阪会場 12/10 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会 12/11 JIMTEF 災害研修アドバンスコース関西会場 ＜2017（平成 29）年＞ 1/13　四病院協会賀詞交歓会 1/17　石巻市訪問 1/19　WAM 助成金説明会

その他関係団体関連	1/20　毎日新聞社　編集編成局　有田氏来所 1/27　女性医療職議連会議参加 2/16　国立保健医療科学院訪問 2/18-19　社養協災害研修名古屋会場 3/12　認定社会福祉士認証・認定機構理事会 3/20　日本ソーシャルワーカー連盟記念シンポジウム参加 3/25　長野県ソーシャルワーカー協会設立総会参加 ＊災害支援に関する関連施設・団体等への訪問は頻度が高く、実務的内容のため省略する。 随時「石巻市における災害支援関係会議」 ４月～10 月「熊本災害における災害支援関係会議（熊本県、益城町）」

2016 年度　研修プログラム

2016 年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰプログラム

【東京会場】（第 74 回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）

日	時	講　義　名	講　　師
8/10（水）	10:00～10:15	開講式・オリエンテーション	研修部
	10:15～11:15	Session１ 厚生労働行政の動向	国立保健医療科学院 主任研究官　熊川　寿郎
	11:30～13:00	Session３-４ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	筑波メディカルセンター病院 医師　志真　泰夫
	14:00～15:00	Session２ 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	北里大学病院 早坂由美子
	15:15～17:15	Session10 支援方法論　アセスメントⅠ	静岡県立静岡がんセンター 福地　智巴
8/11（木）	9:00～10:30	Session３-６ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	北里大学病院 医師　新井　久稔
	10:45～12:15	Session３-３ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	国立がん研究センター中央病院 医師　加藤　　健
	13:15～14:45	Session３-５ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	まこと心のクリニック 医師　山田　耕一
	15:00～16:30	Session３-８ 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林　　真紀
	16:45～18:15	Session３-１ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	医療法人社団松和会 医師　谷亀　光則
8/12（金）	9:00～12:10	Session９ 支援方法論　ミクロ・メゾ （自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術）	四谷メディカルキューブ 中里　哲也
	13:10～14:40	Session３-７ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	あおぞら診療所 医師　川越　正平
	14:55～16:55	Session７ 支援方法論　チーム医療と地域連携	藤森病院 小竹美千穂
	17:10～18:40	Session５ 社会保障制度とソーシャルワーク	国立がん研究センター東病院 坂本はと恵
8/13（土）	9:00～10:30	Session３-２ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携パス	日本医科大学多摩永山病院 医師　北橋　章子
	10:45～12:15	Session11 医療ソーシャルワークと記録	国立病院機構神奈川病院 水野　茂樹
	13:15～15:30	Session４ 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅰ	国立病院機構北海道医療センター 保科　　健
	15:45～17:15	Session６ 診療報酬とソーシャルワーク	JCHO 横浜中央病院 佐野　晴美
8/14（日）	9:00～12:10	Session８ 医療における『家族』の理解	国立成育医療研究センター 佐藤　　杏
	13:10～15:10	Session12 事例検討の方法と実践の検証	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原　純史
	15:10～15:25	閉講式	研修部
	15:25～15:45	アンケート等の記入	研修部

【兵庫会場】（第 75 回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）

日	時	講　義　名	講　　師
11/23（水）	10:00～10:15	開講式・オリエンテーション	研修部
	10:15～11:45	Session３-４ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	東神戸病院 医師　大西　和雄
	12:45～13:45	Session１ 厚生労働行政の動向	福知山公立大学 岡本　悦司
	14:00～16:00	Session７ 支援方法論　チーム医療と地域連携	藤森病院 小竹美千穂
	16:15～17:45	Session３-５ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	ひがし布施クリニック 医師　辻本　士郎
11/24（木）	9:00～11:15	Session４ 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅰ	白鷺病院 藤田　　譲
	11:30～12:30	Session２ 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	北里大学病院 早坂由美子
	13:30～15:00	Session３-８ 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林　　真紀
	15:15～16:45	Session５ 社会保障制度とソーシャルワーク	国立がん研究センター東病院 坂本はと恵
11/25（金）	9:00～10:30	Session３-３ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	神戸大学医学部附属病院 医師　清田　尚臣
	10:45～12:15	Session３-６ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	六甲アイライド甲南病院 医師　小倉　　純
	13:15～14:45	Session11 医療ソーシャルワークと記録	国立病院機構神奈川病院 水野　茂樹
	15:00～16:30	Session６ 診療報酬とソーシャルワーク	西岡病院 岡村　紀宏
	16:45～18:45	Session10 支援方法論　アセスメントⅠ	WITH 医療福祉実践研究所 田村　里子
11/26（土）	9:00～12:10	Session９ 支援方法論　ミクロ・メゾ （自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術）	四谷メディカルキューブ 中里　哲也
	13:10～14:40	Session３-１ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	神戸赤十字病院 医師　川島　邦博
	14:55～16:25	Session３-２ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携パス	森之宮病院 医師　宮井　一郎
	16:40～18:10	Session３-７ 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	ふるかわ医院 医師　古河　　聡
11/27（日）	9:00～12:10	Session８ 医療における『家族』の理解	国立成育医療研究センター 佐藤　　杏
	13:10～15:10	Session12 事例検討の方法と実践の検証	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原　純史
	15:10～15:25	閉講式	研修部
	15:25～15:45	アンケート等の記入	研修部

2016 年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱプログラム

【東京会場】

日	時	講　義　名	講　　師
7/16（土）	10:00～10:10	開講式・オリエンテーション	研修部
	10:10～15:50	Session５ 支援方法論　アセスメントⅡ	WITH 医療福祉実践研究所 田村　里子
	16:05～18:05	Session１ 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	田園調布学園大学 松本　葉子
7/17（日）	9:30～12:10	Session２ 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	東名厚木病院 福田　美香
	13:10～15:10	Session４ 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構大阪医療センター 岡本　　学
	15:25～18:05	Session３ 支援方法論　地域連携とネットワーキング	千葉大学医学部附属病院 葛田　衣重
7/18（月）	9:30～11:50	Session６ ソーシャルワークリサーチ	四谷メディカルキューブ 中里　哲也
	11:50～12:20	Session６レポート課題作成	研修部
	13:20～15:40	Session７ スーパービジョン	札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子
	15:40～16:10	Session７レポート課題作成	研修部
	16:10～16:25	閉講式	研修部

【愛知会場】

日	時	講　義　名	講　　師
3/18（土）	10:00～10:10	開講式・オリエンテーション	研修部
	10:10～12:10	Session１ 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	白鷺病院 藤田　　譲
	13:10～15:50	Session２ 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	岡山大学病院 石橋　京子
	16:05～18:25	Session６ ソーシャルワークリサーチ	四谷メディカルキューブ 中里　哲也
3/19（日）	9:30～12:10	Session３ 支援方法論　地域連携とネットワーキング	千葉大学医学部附属病院 葛田　衣重
	13:10～15:10	Session４ 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構大阪医療センター 岡本　　学
	15:25～17:45	Session７ スーパービジョン	金城学院大学 浅野　正嗣
3/20（月）	9:30～15:10	Session５ 支援方法論　アセスメントⅡ	静岡県立静岡がんセンター 福地　智巴
	15:10～15:40	Session５レポート課題作成	研修部
	15:40～15:55	閉講式	研修部

2016 年度実習指導者養成認定研修プログラム

【愛知会場】

日	時	内　　容	講　　師
9/17（土）	13:00～13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山　和女 ファシリテーター 大阪府立急性期・総合医療センター 佐原　直幸 天理大学 鳥巣　佳子 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子 高知大学医学部附属病院 前田　英武 西片医療福祉研究会 山田美代子
	13:30～14:55	実習指導概論	
	15:05～16:35	実習マネジメント１	
	16:45～17:05	実習マネジメント２	
	17:05～18:45	実習プログラミング１	
	18:45～19:00	フィードバック	
9/18（日）	9:30～10:55	実習プログラミング２	
	11:05～12:30	人の尊厳	
	13:30～16:00	実習スーパービジョン１	
	16:00～17:00	実習評価	
	17:10～18:00	フィードバック	
9/19（月）	9:30～10:50	実習スーパービジョン２	
	11:00～12:35	実習スーパーバイザー会議１	
	13:35～14:10	実習スーパーバイザー会議２	
	14:10～15:00	フィードバック	
	15:15～15:30	チェックリスト	
	15:30～16:00	全体フィードバック	
	16:00～16:30	まとめ	

【東京会場】

日	時	内　　容	講　　師
1/7（土）	13:00～13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山　和女 ファシリテーター 大阪府立急性期・総合医療センター 佐原　直幸 天理大学 鳥巣　佳子 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子 高知大学医学部附属病院 前田　英武 西片医療福祉研究会 山田美代子
	13:30～14:55	実習指導概論	
	15:05～16:35	実習マネジメント１	
	16:45～17:15	実習マネジメント２	
	17:15～18:50	実習プログラミング１	
	18:50～19:00	フィードバック	
1/8（日）	9:30～10:25	実習プログラミング２	
	10:35～12:00	人の尊厳	
	13:00～15:35	実習スーパービジョン１	
	15:35～16:35	実習評価	
	16:45～17:30	フィードバック	
1/9（月）	9:30～10:20	実習スーパービジョン２	
	11:00～12:30	実習スーパーバイザー会議１	
	13:30～14:00	実習スーパーバイザー会議２	
	14:00～14:30	フィードバック	
	14:30～14:45	チェックリスト	
	15:00～15:30	全体フィードバック	
	15:30～16:30	まとめ	

2016 年度スーパーバイザー養成認定研修プログラム

【大阪会場】

日	時	講　義　内　容	講　　師
8/27 （土）	10:00～ 10:15	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山　和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原眞知子
	10:15～ 10:25	評価尺度（事前）作成	
	10:25～ 12:10	Session１ ソーシャルワークにおけるスーパービジョン体制	
	13:10～ 15:10	Session２ 包括的スーパービジョン	
	15:20～ 16:50	Session３ スーパービジョンのための理論	
	17:00～ 18:30	Session４ スーパービジョンの様式・形態・課題	
8/28 （日）	9:30～ 12:00	Session５（前半） 組織におけるソーシャルワークスーパービジョン体制の意義	
	13:00～ 14:20	Session５（後半） 組織におけるソーシャルワークスーパービジョン体制の意義	
	14:20～ 15:45	Session６ スーパービジョン計画作り	
	15:45～ 15:55	評価尺度（事後）作成	

【東京会場】

日	時	講　義　内　容	講　　師
10/29 （土）	9:30～ 9:45	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山　和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原眞知子
	9:45～ 9:55	評価尺度（事前）作成	
	9:55～ 13:00	Session１ 包括的スーパービジョン体制	
	14:00～ 16:50	Session２ スーパービジョンの理論 Session３ スーパービジョンの様式・形態・課題	
	17:00～ 19:50	Session４ 組織におけるソーシャルワークスーパービジョン体制の意義	
10/30 （日）	9:30～ 12:10	Session５ スーパービジョン計画作り	
	12:10～ 12:20	評価尺度（事後）作成	

2016 年度ソーシャルワーク　スキルアップ研修プログラム

スーパービジョン

日　時		内　容	講　師
6/5（日）	10:00～10:10	開講挨拶　オリエンテーション	金城学院大学 浅野　正嗣
	10:10～12:10	講義　スーパービジョンの基礎理論	
	13:10～14:45	講義・演習　支持的スーパービジョンの方法	
	15:00～15:55	演習　グループスーパービジョンの方法	
	15:55～16:10	まとめ	
	16:10～16:25	閉講挨拶	

アセスメント

日　時		内　容	講　師
1/7（土）	10:00～10:10	挨拶　オリエンテ-ション：研修の意図	WITH 医療福祉実践研究所 田村　里子
	10:10～11:10	ミニレクチャー１ 「ソーシャルワークにおけるアセスメントとは」	
	11:10～11:20	アイスブレイキング	
	11:20～12:00	ワーク① グループワーク　事例の共有・可視化	
	13:00～13:40	ミニレクチャー２ 「アセスメントを導く面接」	
	13:40～14:00	ワーク② グループワーク　アセスメントを導く面接への作戦会議	
	14:10～14:20	ウオーミングアップ	
	14:20～15:00	ワーク③ ロールプレイ　アセスメントを導く面接の実際	
	15:00～15:15	全体共有	
	15:15～15:25	ミニレクチャー３ 「アセスメントの記述」	
	15:35～16:30	ワーク④ アセスメントの記述と発表	
	16:30～17:00	まとめ	

インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

日　時		内　容		講　師
8/20（土）	10:00～10:05	挨　拶		講師 ルーテル学院大学 名誉教授 福山　和女 日本社会事業大学 小原眞知子
	10:05～10:25	Session１	グループ・自己紹介	
	10:25～11:30		ソーシャルワーク理論と統合的短期型支援（ISTT）	
	11:30～12:30	Session２	ISTT の展開過程の概要	
	13:30～13:45	午前のまとめ		
	13:45～14:45	Session３	ソーシャルワーク援助に必要な ISTT の 10 のエッセンス①	
	15:00～17:30	Session４	理論的根拠に基づいた援助計画	
8/21（日）	9:30～9:50	前日の振返り		
	9:50～11:00	Session５	ソーシャルワーク援助に必要な ISTT の 10 のエッセンス②	
	11:10～12:30	Session６	事例から考える ISTT	
	13:30～16:00	発表・まとめ・質疑応答		

面接技術　～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

日　時		内　容	講　師
5/1（日）	10:30～12:00	▸SFAデモストレーション ▸援助のプロセスと援助技法 ▸エンゲージメントの段階で用いるスキル ・Anticipatory empathy ・ミラーリング ・イエスセット ・援助の合意を得る一言	東海大学 菱川　愛
	13:00～16:30	▸情報収集段階で用いるスキル ・SFAの質問の型 ・GPの実践例 ・演習：例外を尋ねる質問、スケーリング・クェスチョンから	
5/29（日）	10:30～12:00	▸Good Practiceから学ぶ ・理解的な問いを重ねる ・EARS ▸Elicit ▸Amplify ▸Reflect ▸Start Over ・演習：SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティス	
	13:00～16:30	▸アセスメントの枠組みに沿った聞き方をする ・A.ピンカス＆A.ミナハンのアセスメントの枠組み ▸クライエントの対処の仕方 ▸資源システム ▸パブリック・イシュー ・GPの実践報告 ・演習：対処の仕方を聞く	
6/26（日）	10:30～12:00	▸Good Practiceから学ぶ ・参加者のGP ・GPの実践報告 ▸アセスメントの段階の技術 ・ソーシャルワーカーの「わかり」を言語化する ・アセスメントと整合性のあるプランを立てる	
	13:00～16:30	▸プランニングの段階の技術 ・SWの理解とこの先の援助を伝える ▸タスク ・この先の計画の合意を得る ▸面接の終わり方 ・次の予約について ・評価について	

記録　～プロセスからプログレス記録～【北海道会場】

日　時		内　容	講　師
7/9（土）	10:00～12:00	プログレス記録　SOAP で記録を書くということ	福島県立医科大学 八木亜紀子
	13:00～16:00	SOAP 記録のワークショップ	

記録　～プロセスからプログレス記録～【福島会場】

日　時		内　容	講　師
12/10（土）	10:00～12:00	プログレス記録　SOAP で記録を書くということ	福島県立医科大学 八木亜紀子
	13:00～16:00	SOAP 記録のワークショップ	

記録　～プロセスからプログレス記録～　アドバンス

日　時		内　容	講　師
12/11（日）	10:00～12:00	ドキュメンテーション　～アドバンス～	福島県立医科大学 八木亜紀子
	13:00～16:00	SOAP 記録のワークショップ	

退院支援ソーシャルワーク専門研修【北海道会場】

日　時		内　容	講　師
10/22（土）	13:00～13:15	オリエンテーション	研修部
	13:15～14:15	講演　医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	道南勤医協 函館稜北病院 医師　川口　篤也
	14:15～15:35	講義　退院支援業務の概観 ～その支援の焦点と課題～	日本福祉大学 田中千枝子
	15:45～16:15	アイスブレーキングによるグループ分け 係決め（発表者・書記）	
	16:15～17:30	話し合い　KJ 法作業による「退院支援に関する困難」の構造、関連図作成	
	17:30～18:10	発表	
	18:10～18:40	退院支援課題に対する介入方法の検討・作業	
	18:40～19:00	まとめ　投票	田中千枝子
10/23（日）	9:00～9:15	講義　退院支援の SW 技術概観 ミクロ・メゾ・マクロの枠組みの提示	田中千枝子
	9:15～11:00	SWOT 方式における　組織・地域アセスメント作業 グループ内フィードバックを入れながら、業務改善計画策定	
	11:10～12:10	講義　MSW と NS の協働による退院支援	函館五稜郭病院 退院調整看護師 井上　美佳
	13:10～14:10	講義　退院支援における SW アセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:10～14:45	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
	15:00～15:25	事例②を読み込み、エコマップ作成、アセスメントを書く	
	15:25～16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
	16:00～16:20	エコマップ質疑・全体フィードバック　講師コメント	佐原まち子 田中千枝子

退院支援ソーシャルワーク専門研修【三重会場】

日　時		内　容	講　師
2/25（土）	13:00～13:15	オリエンテーション	研修部
	13:15～14:15	講演　医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	いしが在宅ケアクリニック 医師　石賀　丈士
	14:15～15:35	講義　退院支援業務の概観 ～その支援の焦点と課題～	日本福祉大学 田中千枝子
	15:45～16:15	アイスブレーキングによるグループ分け 係決め（発表者・書記）	
	16:15～17:30	話し合い　KJ 法作業による「退院支援に関する困難」の構造、関連図作成	
	17:30～18:10	発表	
	18:10～18:40	退院支援課題に対する介入方法の検討・作業	
	18:40～19:00	まとめ　投票	田中千枝子
2/26（日）	9:00～9:15	講義　退院支援の SW 技術概観 ミクロ・メゾ・マクロの枠組みの提示	田中千枝子
	9:15～11:00	SWOT 方式における　組織・地域アセスメント作業 グループ内フィードバックを入れながら、業務改善計画策定	
	11:10～12:10	講義　MSW と NS の協働による退院支援	市立四日市病院 看護師　森　美穂子
	13:10～14:10	講義　退院支援における SW アセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:10～14:45	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
	15:00～15:25	事例②を読み込み、エコマップ作成、アセスメントを書く	
	15:25～16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
	16:00～16:30	エコマップ質疑・全体フィードバック　講師コメント	佐原まち子 田中千枝子

周産期から始まるソーシャルワーク研修

日	時	内　容	講　師
3/4（土）	10:00～10:15	オリエンテーション	石井記念愛染園附属愛染橋病院 上原　玲 聖隷浜松病院 内田　美加 東京都立墨東病院 柿沼　千秋 国立成育医療研究センター 佐藤　杏 愛仁会高槻病院 田口眞規子 埼玉県立小児医療センター 平野　朋美 神戸学院大学 宮崎　清恵 神戸大学医学部附属病院 医師　余谷　暢之
	10:15～10:45	グループワーク（自己紹介・情報交換）	
	10:45～11:30	講義Ⅰ 周産期ソーシャルワーク概要	
	11:30～12:00	講義Ⅱ 実践力とは	
	13:00～14:30	講義Ⅲ 実践モデルとは	
	14:30～15:15	講義Ⅳ 実践モデル応用Ⅰ	
	15:25～16:05	講義Ⅴ クライエント理解	
	16:05～16:50	講義Ⅵ ミクロからメゾ実践の理解その１	
	17:00～17:45	講義Ⅶ ミクロからメゾ実践の理解その２	
	17:45～18:20	グループワーク	
	18:20～18:30	まとめ	
3/5（日）	9:00～9:15	オリエンテーション	
	9:15～10:45	講義Ⅷ 小児医療の理解	
	11:00～11:20	講義Ⅸ 実践モデル応用Ⅱ	
	11:20～12:10	演習１ 実践モデルにそった援助を意識化し振り返る	
	13:10～15:50	演習２ 実践モデルにそった援助について意識化し検討する	
	15:50～16:30	質疑応答 振り返り	

ソーシャルワークにおける就労支援

日	時	内　容	講　師
1/28（土）	10:00～10:30	導入 がん患者の就労支援　－研修開始にあたり－	国立がん研究センター東病院 坂本はと恵
	10:30～12:00	医療ソーシャルワーカーが知っておくべきがん治療の基本 －治療から生じる就労困難を理解する－	名古屋第二赤十字病院 医師　赤羽　和久
	13:00～14:15	仕事と治療の両立支援の経験から －経験や工夫をつなぐ・活かす－	CSR プロジェクト 藤田　久子
	14:25～16:20	演習	WITH 医療福祉実践研究所 田村　里子
	16:20～16:30	アンケート記入	研修部

緩和ケアにおけるソーシャルワーク　～いのちに向き合う～

日　時		内　容	講　師
12/4 （日）	10:00～ 12:00	基調講演　「いのち」に向き合う－緩和ケアの原点	関西学院大学大学院 藤井　美和
	13:00～ 13:20	講義　あらためて問う ソーシャルワーカーであること	WITH 医療福祉実践研究所 田村　里子
	13:20～ 14:00	講義　怒りを抱えるクライエントに向き合う・寄り添う	静岡県立静岡がんセンター 福地　智巴
	14:15～ 16:00	演習　事例をもとに　グループワーク　ロールプレイ	田村　里子 福地　智巴
	16:00～ 16:30	分かち合い＆まとめ	田村　里子 福地　智巴

ソーシャルワークにおける臨床倫理

日　時		内　容	講　師
7/23 （土）	10:00～ 10:05	オリエンテーション	倫理綱領検討担当チーム
	10:05～ 12:00	講義１ 臨床における倫理の基本	東京大学　人文社会系研究科 次世代人文学開発センター 上廣死生学講座　特任教授 清水　哲郎
	13:00～ 14:00	講義２ 意思決定支援のありかた―臨床倫理の視点から	東京大学　人文社会系研究科 次世代人文学開発センター 上廣死生学講座　特任教授 清水　哲郎
	14:00～ 16:20	臨床倫理シートを用いた検討 （話題提供・質疑、グループワーク） 「退院支援場面における意思決定考える」	講師 清水　哲郎 コーディネーター 田村　里子
	16:20～ 16:30	まとめ	倫理綱領検討担当チーム

認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

日　時		内　容	講　師
11/12 （土）	10:00～ 12:00	基本的な医学知識と最新情報 ～認知症の方を理解するために	筑波大学 教授　新井　哲明
	13:00～ 15:20	事例を通して学ぶ　退院援助と院外連携	講師 東京都保健医療公社荏原病院 東京都地域拠点型認知症疾患医療センター アウトリーチチーム 鈴木　謙一 東京都保健医療公社荏原病院 東京都地域拠点型認知症疾患医療センター アウトリーチチーム 森山　美穂
	15:30～ 16:30	権利擁護　成年後見と意思決定への支援	法律事務所たいとう 弁護士　佐藤　香代

交通事故被害者生活支援研修

日　時		内　容	講　師
9/25（日）	10:00～10:10	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	10:10～10:55	【講義】 自動車事故と遷延性意識障害について －千葉療護センターにおける現況－	千葉療護センター センター長　小瀧　　勝
		【講義】 千葉療護センターの機能と被害者支援	千葉療護センター 石川　里香
	10:55～11:45	【講義】 交通事故による重度後遺障害者の現状と課題	全国遷延性意識障害者・家族の会 宮城県ゆずり葉の会 沼田　孝市
	12:45～13:30	【講義】 交通事故に関する損害保険制度の基礎知識	一般社団法人日本損害保険協会 大嶋　菜摘
	13:30～16:20	【講義と演習】 交通事故被害者生活支援の実際 ～多機関連携の視点から～	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:20～16:30	まとめ	交通事故被害者生活支援研修チーム

2016 年度ソーシャルワーク　研究発表セミナープログラム

日　時		内　容	講　師
10/29（土）	9:30～12:00	ソーシャルワークにおける　質的研究の実際	東洋大学 社会学部 教授　志村　健一
	13:00～14:00	演習① グループワーク 私の実践と問題意識・研究計画の共有	
	14:10～15:00	演習② グループワーク 研究テーマの展開・方法　例示として	
	15:00～16:00	演習③ グループワーク 各グループの質的研究プロジェクト	
	16:10～16:40	全体共有および講師からのフィードバック	
	16:40～17:00	全体のまとめ	
10/30（日）	9:30～12:00	ソーシャルワークにおける量的研究の実際	旭川大学 保健福祉学部 准教授　栗田　克実
	13:00～14:00	演習① グループワーク 再考　私の問題意識と研究計画の結びつき	
	14:10～15:00	演習② グループワーク 研究テーマの展開・方法　例示として	
	15:00～16:00	演習③ グループワーク 各グループの量的研究プロジェクト	
	16:10～16:40	全体共有および講師からのフィードバック	
	16:40～17:00	全体のまとめ	

2016 年度人材開発・養成講座プログラム

日　　時		内　　容	講　　師
11/20 （日）	10:00～ 10:10	オリエンテーション	日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山　和女
	10:10～ 10:30	研修の目標設定　ディスカッション	
	10:30～ 12:00	講義　人材養成とスーパービジョン 新人対象 新任対象	
	12:00～ 13:00	昼　食	
	13:00～ 14:00	事例１セッション演習	
	14:10～ 15:10	事例２セッション演習	
	15:20～ 16:30	まとめ　フィードバック	

2016 年度社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座プログラム

日	時	講　義　内　容	講　　師
3/18 （土）	13:00～ 13:20	開講式 スタッフ紹介とオリエンテーション	研修部
	13:20～ 13:40	アイスブレーキング	研修部
	13:40～ 14:30	Session１ 医療ソーシャルワーカーの歴史	日本医療社会福祉協会 会長　早坂由美子
	14:45～ 16:15	Session２ 医療ソーシャルワーカーの業務	横浜市立大学附属病院 高木　愛子
	16:30～ 18:00	Session３ 必要な医学知識　地域医療とターミナルケア	望星大根クリニック 医師　谷亀　光則
	18:00～ 19:00	Session４ グループディスカッション１	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部　靖子 北里大学病院 市川　賀一 東京医科大学病院 大竹口幸子 太田綜合病院附属太田熱海病院 亀谷恵理子 国立がん研究センター東病院 坂本はと恵 国立病院機構高崎総合医療センター 篠原　純史 横浜市立大学附属病院 高木　愛子 東葛病院 竹村　陽子 JCHO 東京新宿メディカルセンター 山﨑まどか
3/19 （日）	9:30～ 11:00	Session５ 多職種とのチーム医療等	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原　純史
	11:15～ 12:45	Session６ 社会保障制度とソーシャルワーク	東京医科歯科大学医学部付属病院 阿部　靖子
	13:45～ 15:45	Session７ グループディスカッション２	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部　靖子 北里大学病院 市川　賀一 東京医科大学病院 大竹口幸子 太田綜合病院附属太田熱海病院 亀谷恵理子 国立がん研究センター東病院 坂本はと恵 国立病院機構高崎総合医療センター 篠原　純史 横浜市立大学附属病院 高木　愛子 東葛病院 竹村　陽子 JCHO 東京新宿メディカルセンター 山﨑まどか
	15:45～ 16:00	閉講式	研修部

保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修プログラム（2016 年度）

通信科目　（第 13 期）

	科　　目	出　題　者
第1学期	保健医療分野のソーシャルワークの歴史と動向	小原眞知子（日本社会事業大学） 片岡　靖子（久留米大学）
	医療と社会・経済	廣井　良典（京都大学こころの未来研究センター） 佐原まち子（WITH 医療福祉実践研究所）
	医療機関の機能とソーシャルワーク	矢野　　聡（日本大学） 田中千枝子（日本福祉大学大学院）
第2学期	医の倫理とソーシャルワーク	北島　英治（日本社会事業大学） 清水　哲郎（東京大学大学院）
	生活障害とソーシャルワーク	宮崎　清恵（神戸学院大学） 福山　和女（ルーテル学院大学大学院）
	連携・協働	小山　秀夫（兵庫県立大学大学院） 熊谷　忠和（川崎医療福祉大学）
第3学期	実践の評価・記録	横山由香里（日本福祉大学） 八木亜紀子（福島県立医科大学）
	組織と業務管理	久保　真人（同志社大学） 宮内佳代子（帝京大学医学部附属溝口病院）
	保健・医療・福祉関連法規・制度	富樫　八郎（沖縄大学） 池田恵利子（あい権利擁護支援ネット）

スクーリング日程　（第 12 期）

	内　　容	講　　師	ファシリテーター
第1日目	【講義と演習Ⅰ】 日常実践における倫理的思考の涵養 ー当事者の尊厳を尊重するとはー	齋藤有紀子 （北里大学医学部附属医学教育研究開発センター）	小松美智子 （武蔵野大学） 笹岡　眞弓 （文京学院大学） 佐原まち子 （WITH 医療福祉実践研究所） 左右田　哲 （北里大学病院） 髙橋　恭子 （神奈川県立保健福祉大学） 田中千枝子 （日本福祉大学） 南本　宜子 （済生会京都府病院） 林　　真紀 （やわたメディカルセンター） 林　　眞帆 （別府大学） 藤田　　譲 （白鷺病院） 保科　　健 （国立病院機構北海道医療センター） 宮崎　清恵 （神戸学院大学）
	【講義と演習Ⅱ】 連携を深めるための交渉術・調整術	大島　　武（東京工芸大学）	
第2日目	【講義Ｂ】 社会保障とこれからの医療ソーシャルワーク	早坂由美子 （公益社団法人日本医療社会福祉協会）	
	【講義と演習Ⅲ】 MSW に必要な家族アセスメントの理論と知識	渡辺　俊之（東海大学）	
	【講義と演習Ⅳ】 コミュニティ・ベースド・ソーシャルワークを展開するためのアセスメント	田中千枝子（日本福祉大学） 宮崎　清恵（神戸学院大学） 藤田　　譲（白鷺病院） 林　　眞帆（別府大学） 南本　宜子（済生会京都府病院） 林　　真紀 （やわたメディカルセンター）	
第3日目	【講義Ｃ】 意思決定支援　希望をつなぐ連携	小野沢　滋 （みその生活支援クリニック）	
	【講義Ａ】 保健医療分野におけるソーシャルワーカーへのメッセージ	相原　和子（国際医療福祉大学）	
	【講義Ｄ】 臨床研究の進め方と統計手法	大出　幸子 （聖路加国際大学臨床疫学センター）	

2016 年度フレッシュ医療ソーシャルワーカー１日研修会プログラム

開催日：大阪会場６月 26 日　東京会場７月 16 日　香川会場７月 24 日　　担当：組織運営部

時　間	内　　容	講　師
10:30～ 11:00	開会あいさつ 来賓あいさつ	協会理事 都道府県協会代表者
11:00～ 12:00	医療保険制度の基礎知識と医療ソーシャルワーカーの役割	会員医療ソーシャルワーカー
13:00～ 14:45	新人医療ソーシャルワーカーへのメッセージ	会員医療ソーシャルワーカー
14:45～ 15:45	フロアー交流	参加者相互
15:45～ 15:55	日本医療社会福祉協会　紹介	組織運営部
15:55～ 16:00	閉会あいさつ・閉会	協会役員

2016 年度　人権擁護とソーシャルワーク研修
「明日であうかもしれない HIV 陽性者のために」プログラム

開催日：2017 年１月 15 日（日）　　担当：社会活動部

時　間	内　　容	講　師
10:00～ 10:05	開会あいさつ 趣旨説明	社会活動部
10:05～ 11:05	【講義】 人権擁護としての HIV 陽性者支援	東京医科大学病院 藤平　輝明
11:05～ 11:50	【講義】 血友病薬害被害者の現状と課題	はばたき福祉事業団 事務局長　柿沼　章子
12:50～ 13:20	【講義】 HIV 陽性者の生き方、HIV 陽性者との生き方 HIV 感染症診療から垣間見えたこと	名古屋医療センター エイズ総合診療部長 横幕　能行
13:20～ 13:50	【講義】 HIV 陽性者の社会資源と地域連携の現状	九州医療センター 首藤美奈子
13:50～ 16:20	【演習】グループワーク 明日であう HIV 陽性者のために今日なにをするべきか？ ～組織内連携、組織間・地域連携、地域包括ケアの視点から～	社会活動部
16:20～ 16:30	まとめ　　アンケート記入	社会活動部

2016 年度人生最終段階における意思決定支援研修会プログラム

【兵庫会場】　　担当：調査研究部

日	時	内　容	講　師
10/15（土）	10:00～10:45	講義１ 研修の意義とアイスブレク	西岡病院 岡村　紀宏
	10:45～12:15	講義２ 厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」の成果を踏まえたアドバンス・ケア・プランニングの仕組みつくり	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部・在宅連携医療部／EOL ケアチーム 医師　西川　満則
	13:10～14:40	講義３ 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士　木下正一郎
	14:50～16:20	講義４ 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長　小野沢　滋
	16:30～18:00	講義５ チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村　里子
10/16（日）	9:00～10:30	講義６ 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授　清水　哲郎
	10:40～12:10	講義７ アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任准教授　会田　薫子
	13:00～16:10	講義８-１＆２ 人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村　里子
	16:10～16:30	アンケート記載	調査研究部

【北海道会場】

日	時	内　容	講　師
3/11（土）	10:00～10:45	講義１ 研修の意義とアイスブレク	西岡病院 岡村　紀宏
	10:45～12:15	講義２ 厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」の成果を踏まえた仕組みづくり	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部・在宅連携医療部／EOL ケアチーム 医師　西川　満則
	13:10～14:40	講義３ アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援～	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任准教授　会田　薫子
	14:50～16:20	講義４ 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授　清水　哲郎
	16:30～18:00	講義５ チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村　里子
3/12（日）	9:00～10:30	講義６ 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士　木下正一郎
	10:40～12:10	講義７ 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長　小野沢　滋
	13:00～16:10	講義８-１＆２ 人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村　里子
	16:10～16:30	アンケート記載	調査研究部

2016 年度　在宅医療ソーシャルワーカーの集いプログラム

担当：調査研究部

日　　時		内　　容	講　　師
10/15 （土）	10:00～ 12:00	Session１ 在宅医療ソーシャルワーカーに期待すること	みその生活支援クリニック 小野沢　滋 オレンジホームケアクリニック 紅谷　浩之
	13:00～ 14:00	Session２ 在宅医療ソーシャルワーカーの実践報告	医療法人社団南星会湘南ライフタウン診療所 小林　廣岳 輝生会在宅総合ケアセンター元浅草 左右田克江 医療法人心の郷　穂波の郷クリニック 大石　春美
	14:00～ 14:20	Session３ 在宅医療ソーシャルワーカーの活動を広げるために ～日本医療社会福祉協会から	調査研究部 部長　岡村　紀宏
	14:30～ 17:00	Session４ ワールドカフェ	調査研究部